

岡三証券SDGsトークイベント

JICAと話そう！ 国際協力 ～アフリカから考える新たな時代の実現のために～

第二部 サステナブルファイナンスが創る未来

住友生命保険相互会社

運用企画部 責任投資推進部長

田中 淳一

責任投資に取り組む意義

- 持続可能な社会の実現への貢献と、中長期の安定的な運用収益の確保の両立を目指し、サステナビリティを考慮した「責任投資」をすべての運用資産で推進しています。
- ウェルビーイング貢献領域に対する投融資に積極的に取り組んでいます。

社会・環境的インパクト創出を通じて「持続可能な社会の実現」へ



「住友生命グループVision2030」で定めるウェルビーイング貢献領域

| | | | |
|--|--------------------------------------|---|--|
| 地球環境の改善 (気候変動領域) | 健康増進への貢献 (ヘルスケア領域) | 人財の活性化 エンゲージメントの向上 (人的資本領域) | 充実した暮らし・ 世代を支える (インフラ投資領域) |
| GHG排出削減寄与量 約 95.9 万 t CO ₂ e(年間) | 医療受益者 約 80.9 万 (年間) | 小口融資を受けた受益者 約 80.0 万人 (年間) | 安全な飲料水供給の受益者 約 33.5 万人 (年間) |

※ 当社のウェルビーイング貢献領域と整合性の高い主なアウトカム事例。投融資先企業が提供している情報をもとに、当社の持ち分を考慮した上で算出しています。

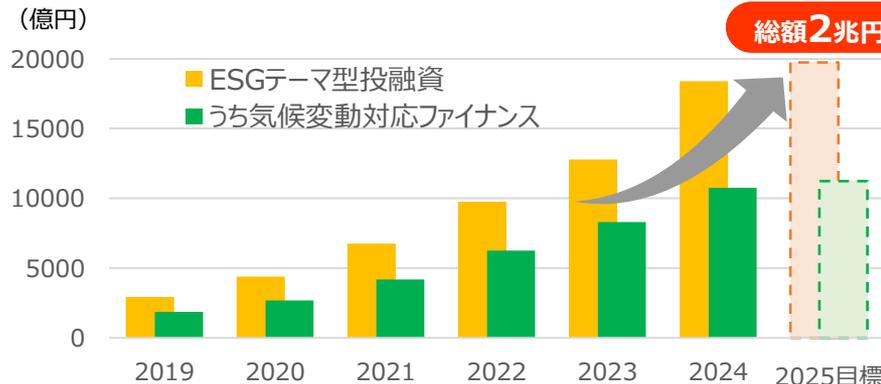
ファイナンスとエンゲージメント

□ 責任投資には、主にファイナンスとエンゲージメントの両面から取り組んでいます。

ファイナンス「ESGテーマ型投融資」

- ファイナンスを通じて社会課題の解決に貢献していくことを目指しています。2025年3月に、ESGテーマ型投融資の目標金額を大幅に引き上げました。

| | |
|------------------------|---|
| 2023～2025年度 (3カ年累計) | 目標：1兆円 (+3000億円) 実行：8648億円 |
| うち気候変動対応 ファイナンス | 目標：5000億円 (+1000億円) 実行：4513億円 |



エンゲージメント「企業との建設的な対話」

- 投融資先の価値向上に向けて、気候変動対応等様々なESG課題をテーマとした対話に取り組んでいます。
- 気候変動をテーマとした対話では、資産ポートフォリオにおけるGHG排出量の8割程度を占める多排出企業の上位30社との対話に注力しています。

気候変動対応ファイナンス

- 気候変動の緩和・適応を目的とする投融資です。
- 脱炭素社会への移行等に伴う投資機会が増加していくことが見込まれる中、再生可能エネルギー等のインフラ投資、トランジションファイナンスに注力しています。
- 特に、脱炭素社会の実現に向けては、一足飛びに脱炭素化が難しい産業へのトランジション・ファイナンスが重要と考え、積極的に投融資を実行しています。
- トランジションファイナンス累計実行額：415億円※

※ 2025年3月末時点

Signatory of:

住友生命が加盟する主な国際的イニシアティブ



免責事項

- 本資料の作成にあたり、住友生命保険相互会社（以下「住友生命」または「当社」という。）は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、それらの情報および本資料の正確性 または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。
- 当社の責任投資の詳細は、責任投資活動報告書等をご覧ください。
- 本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。